

工 事 番 号							
設計年度	令和5年度		東本通川第2排水区雨水管污水管新設工事 (5-1工区)  三原市 本郷南四丁目				
施工月日	令和	年 月 日					
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
施工内容 路線延長 (雨水補助) L=34.0m 管体延長 管渠工 (開削) φ 450 L=33.1m  路線延長 (汚水単独) L=72.0m 管体延長 管渠工 (開削) φ 150 L=35.1m 管体延長 管渠工 (開削) φ 200 L=35.1m							

仕 様 書

# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市本郷南四丁目 公共下水道事業 東本通川第2排水区雨水管污水管新設工事(5-1工区)に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
  - ・土木工事共通仕様書 令和4年8月 広島版  
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
  - ・下水道土木工事必携(案) 2021年度 公益社団法人日本下水道協会
  - ・下水道用設計指針と設計標準図 平成26年度改訂版 三原市
  - ・その他関連規格類

### 第2節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、管理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

### 第3節 部分引渡し

建設工事契約約款第38条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

### 第4節 検査

土木工事共通仕様書(令和4年8月広島版)『第3編 1-1-8 技術検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

### 第5節 情報共有システム(設計金額500万円以上が対象)

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報交換システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用

料を支払うものとする。

- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

#### 第6節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

#### 第7節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
  - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』
  - (2) 上記(1)の内容について『不測の事態等が生じた場合の対応方法』
  - (3) 上記(1)、(2)の内容について『現場作業に従事する者に対する周知の方法』
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

## 第2章 施工条件

### 第1節 工程

#### 1 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	地下埋設物（水道管、既設污水管などの埋設物あり）
調査時期	工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

移設時期 必要に応じて、別途協議するものとする。  
提出書類 「試掘結果報告書」として、提出するものとする。また、提出部数については監督員の指示によるものとする。

## 第2節 用地

1 借地 あらかじめ近隣住民に借地する目的、作業内容を充分説明し、同意を得て借地すること。

## 第3節 公害対策

### 1 事前・事後調査

調査区分 事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。

調査時期 施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）

調査内容 柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況

範囲 別途協議による。

## 第4節 安全対策

### 1 交通誘導員・保安要員

工事作業期間中の交通誘導員は、開削工事2（人/日）を見込んでいる。

## 第5節 工事用道路

### 1 一般道路

搬入経路 特に指定しない。

使用期間 工事施工期間

使用時間 8時30分～17時

工事中・後の処置 随時 清掃、 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

## 第6節 建設副産物

### 1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））（指定処分（A））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所 株式会社大地産業リサイクルプラント（三原市小坂町碑ヶ迫160）

なお、工事発生後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

## 2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m<sup>2</sup>以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

## 第7節 仮設工

湧水等により、見込んでいる仮設工法が適さない場合や適用できない場合は、任意仮設についても設計変更することができる。

ただし、変更しようとする者は、見込んでいる仮設工法が適用できない根拠を文書等に示すとともに、適した仮設工法の仕様や構造計算書等を添付し、監督員と協議すること。

## 第8節 工事支障物件

### 1 地下・地上支障物

支障物件名	水道管，污水管
管理者	三原市水道部
位置	協議による
移設時期	協議による

## 第9節 管内テレビカメラ調査

管内テレビカメラ調査については、下水道管路施設の点検・調査マニュアル（案）（平成25年6月社団法人日本下水道協会）を準拠し実施すること。

## 第10節 その他

### 1 工事用機資材の仮置き

場 所	指定しない
期 間	指定しない
保管方法	指定しない

### 第3章 設計金額

#### 第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和4年8月広島版）『第1編 1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

### 第4章 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

### 第5章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。

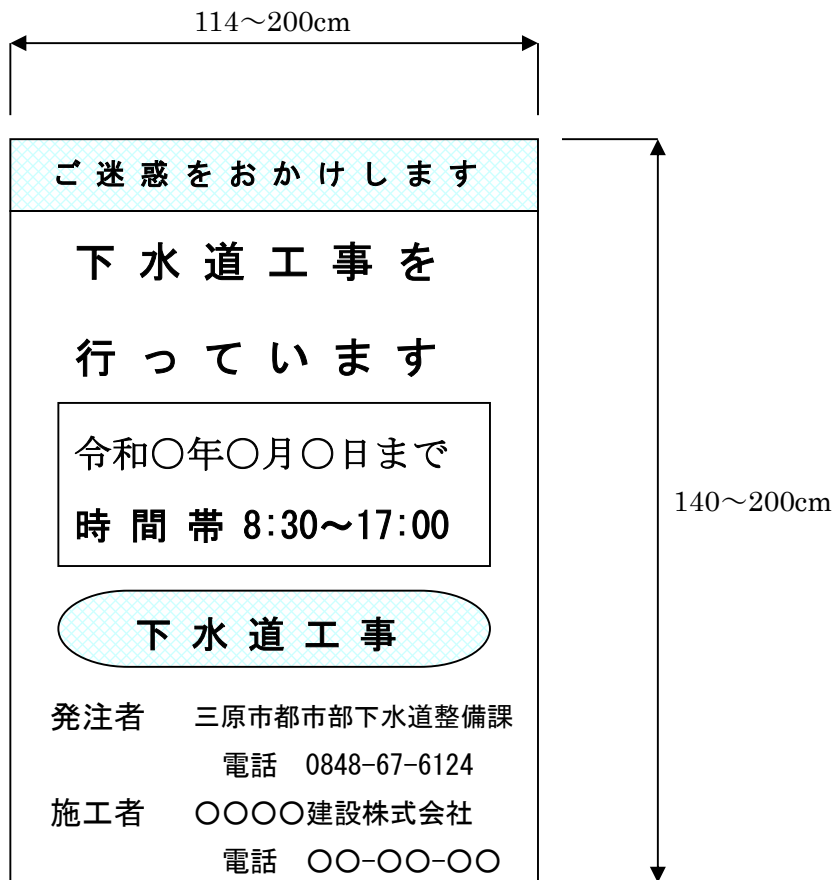
なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- |              |   |
|--------------|---|
| (1) 原因調査     | 監督員と協力して行なうものとする。                             |
| (2) 補償交渉     | 監督員と協力して処理解決に当るものとする。                         |
| (3) 応急処置     | 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。 |
| (4) 補償費用負担割合 | 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。   |

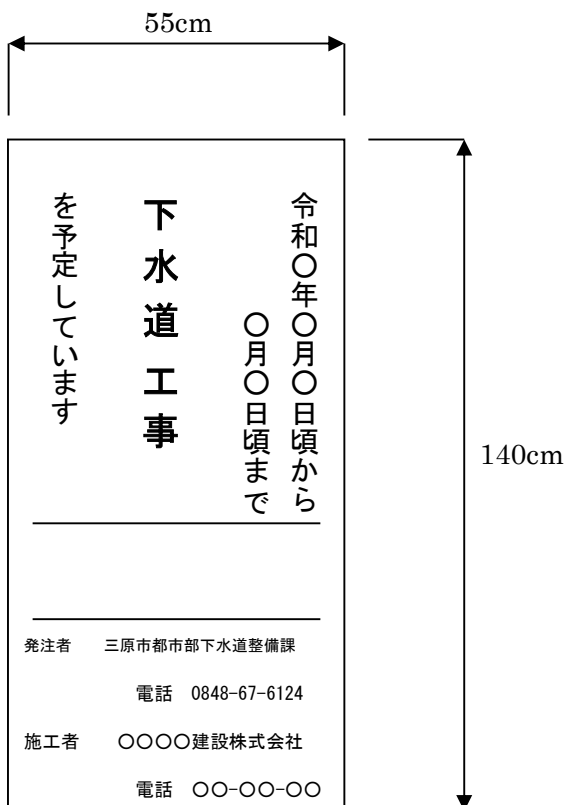
### 第6章 その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

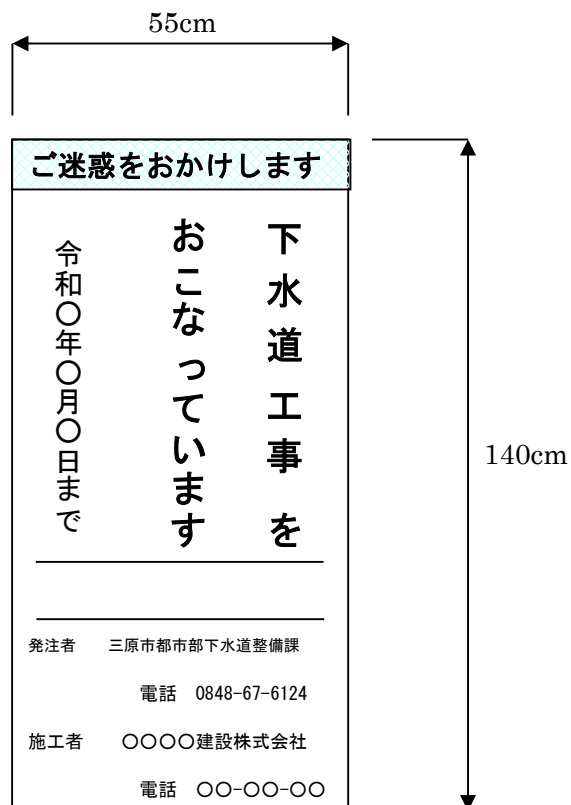
【工事標示板】



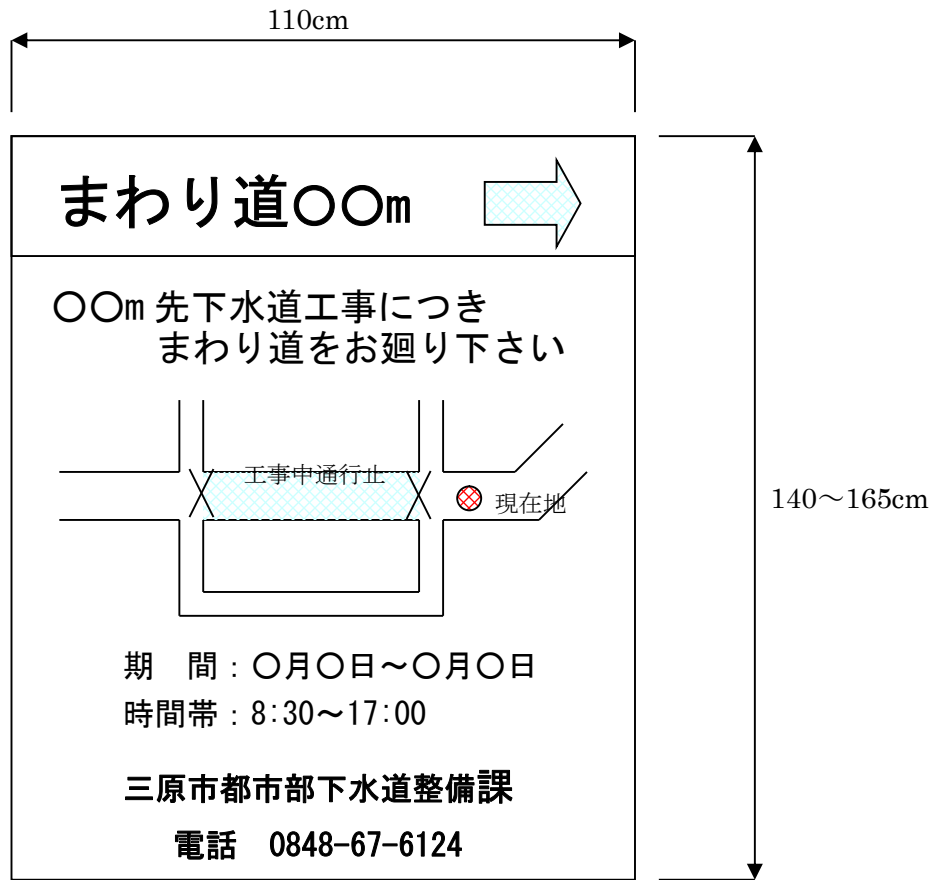
【工事情報看板】



【工事説明看板】



【まわり道案内表示板】





# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費	雨水補助			
管路施設(開削工法)	雨水補助 ( VU 450mm )	式	1	レベル1
管きょ工(開削)		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4
管路埋戻	発生土	式	1	レベル4
管路埋戻	再生砂	式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
管布設工		式	1	レベル3
硬質塩化ビニル管	【VU 450mm】	m	33.1	レベル4
伸縮可とう継手(管)		箇所	2	レベル4
埋設標識テープ		m	33.1	レベル4
管基礎工		式	1	レベル3
砂基礎	再生砂	m	33.1	レベル4
管路土留工		式	1	レベル3
軽量鋼矢板土留		式	1	レベル4
土留材質料		式	1	レベル4
開削水替工		式	1	レベル3

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
開削水替		式	1	レベル4
マンホール工		式	1	レベル2
組立マンホール工		式	1	レベル3
組立1号マンホール		箇所	1	レベル4
仮設工		式	1	レベル3
交通誘導員		式	1	レベル4
付帯工		式	1	レベル2
舗装撤去工		式	1	レベル3
舗装版切断		m	27	レベル4
舗装版破碎		m2	35	レベル4
殻運搬処理		m3	1	レベル4
既設構造物撤去工		式	1	レベル3
既設構造物撤去		m3	1	レベル4
コンクリート塊運搬処理		m3	1	レベル4
** 直接工事費 **				
運搬費				
運搬費		式	1	レベル2
運搬費		式	1	レベル3

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
仮設材運搬費		t	14.1	レベル4
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2
技術管理費		式	1	レベル3
管内調査費		m	33.1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				
** 工事価格 **				
** 消費税相当額 **				
** 工事費 **				

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費	汚水単独			
管路施設(開削工法)	汚水単独 (VU 150mm)	式	1	レベル1
管きょ工(開削)		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路埋戻	再生砂	式	1	レベル4
管布設工		式	1	レベル3
硬質塩化ビニル管	【VU 150mm】	m	35.1	レベル4
伸縮可とう継手(管)		箇所	2	レベル4
埋設標識テープ		m	35.1	レベル4
管基礎工		式	1	レベル3
砂基礎	再生砂	m	2	レベル4
管路施設(開削工法)	汚水単独 (VU 150mm)	式	1	レベル1
管きょ工(開削)		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4
管路埋戻	発生土	式	1	レベル4
管路埋戻	再生砂	式	1	レベル4
管布設工		式	1	レベル3

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
硬質塩化ビニル管	【VU 200mm】	m	35.1	レベル4
伸縮可とう継手(管)		箇所	2	レベル4
埋設標識テープ		m	35.1	レベル4
管基礎工		式	1	レベル3
砂基礎	再生砂	m	2	レベル4
マンホール工		式	1	レベル2
組立マンホール工		式	1	レベル3
組立1号マンホール		箇所	1	レベル4
内副管		箇所	1	レベル4
** 直接工事費 **				
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2
技術管理費		式	1	レベル3
管内調査費		m	70.2	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				

# 工事数量総括表

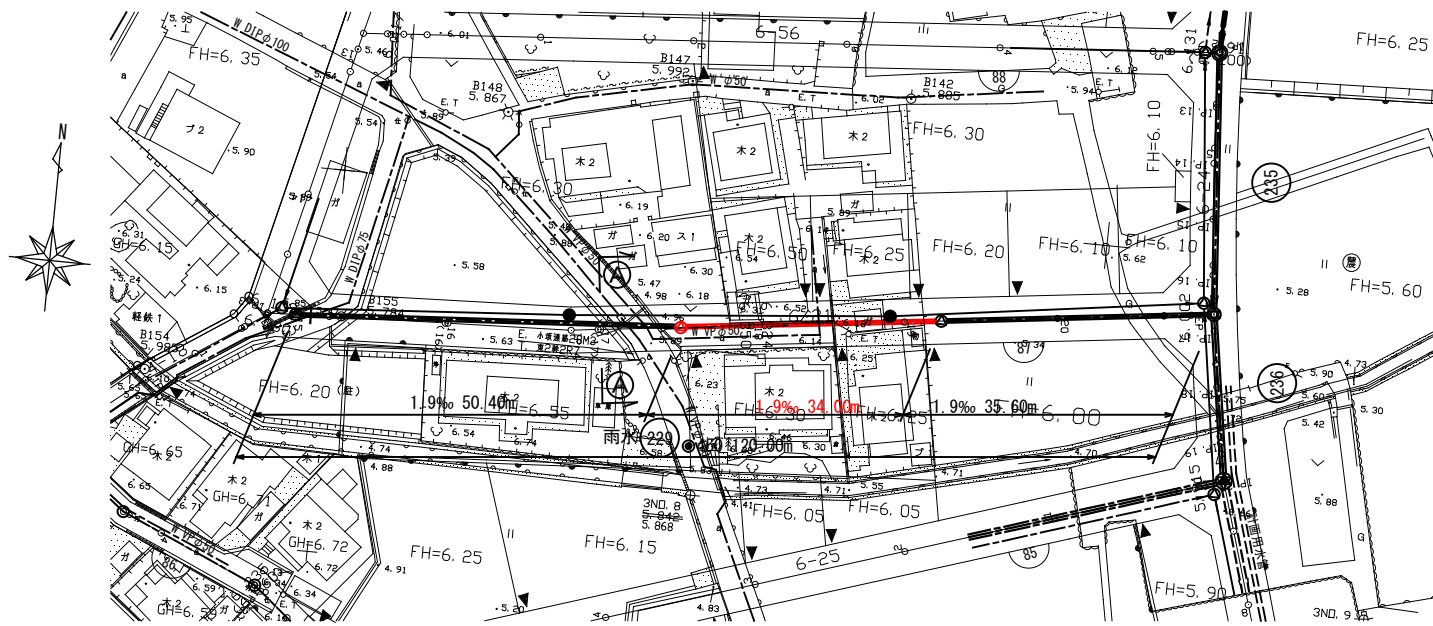
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
**工事原価**					
一般管理费率分					
契約保証費					
一般管理費計					
**工事価格**					
**消費税相当額**					
**工事費**					
**工事費計**					
**契約保証費計**					

平面図

S=1/500

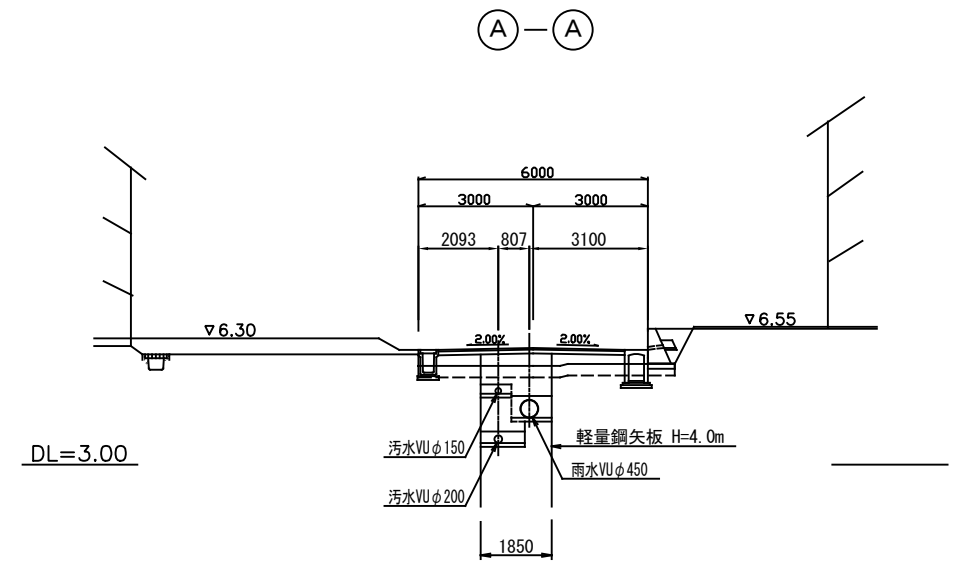
凡例

→	雨水実施
- - ->	雨水計画
- - -W-	水道管
- - -N-	NTT地下ケーブル
○	組立0号人孔
⊙	組立1号人孔
⊗	組立2号人孔
⊕	組立3号人孔
⊖	組立4号人孔
□	特殊人孔
⊗	小型電ピマンホール
○	雨水管内継、取付管



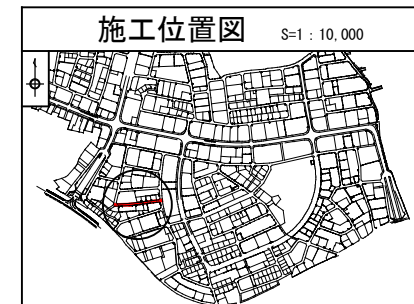
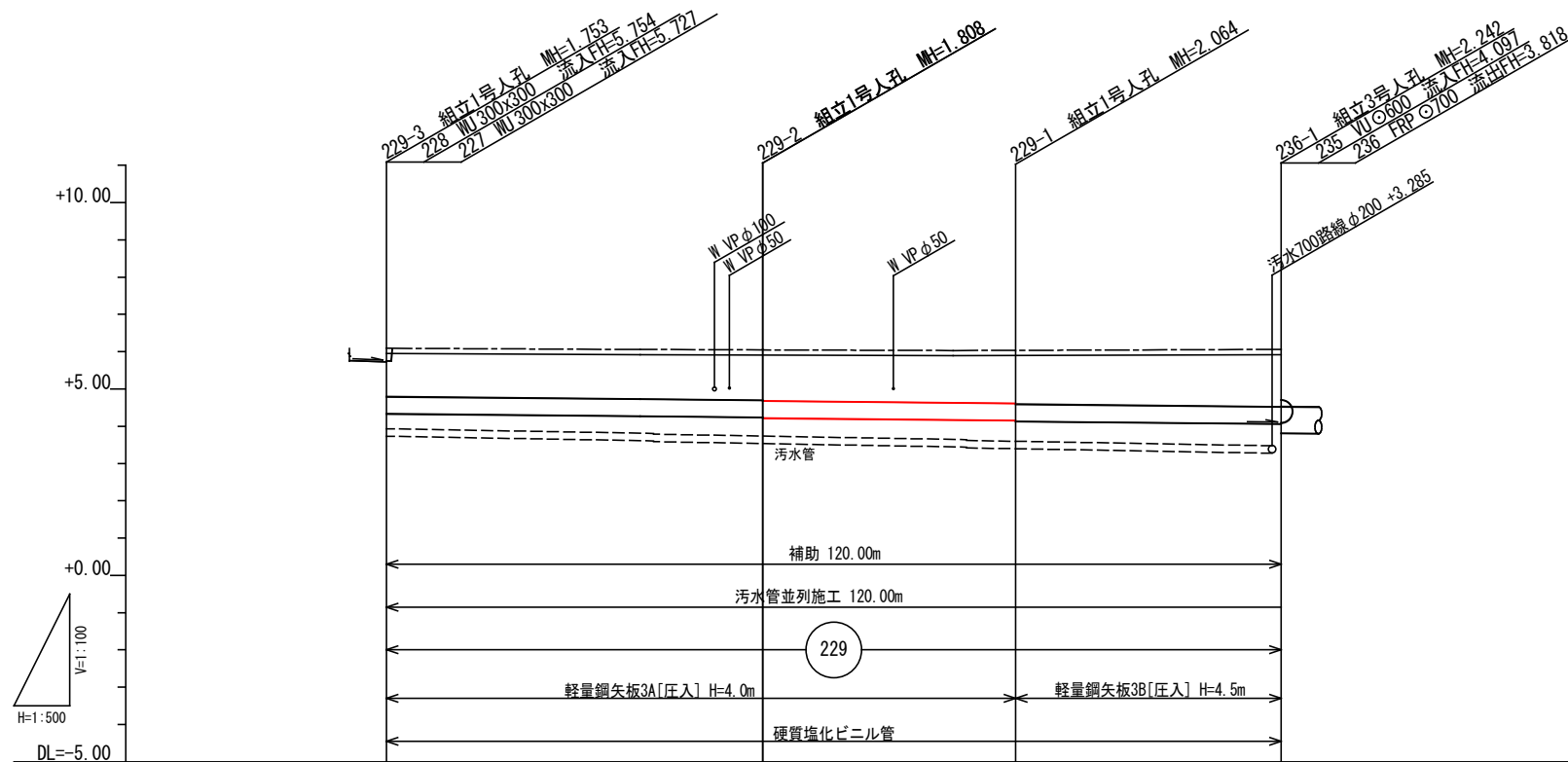
横断面図

S=1/100



縦断面図

V=1/100  
H=1/500



種別	管番号	管径	工法	延長
雨水	229	φ 450	開削・補助	120.00
計				120.00

管径	mm	VUφ450			
勾配	‰	1.9			
区間距離	m	50.40	34.00	35.60	
計画地盤高	m	6.00	6.11	6.20	6.06
現況地盤高	m	5.95	5.97	6.06	5.92
土被り	m	1.29	1.33	1.58	1.53
管底高	m	4.337	4.241	4.156	4.068
掘削深	m	1.72	[1.77]	2.02	[2.01]
追加距離	m	0.00	50.40	84.40	120.00
測点		229-3	229-2	229-1	236-1

令和5年度(R4線) 公共下水道事業(雨水)

工事名	東本通川第2排水区雨水管汚水管新設工事(5-1工区)		
工事場所	三原市 本郷南四丁目		
図面番号	1	縮尺	図示

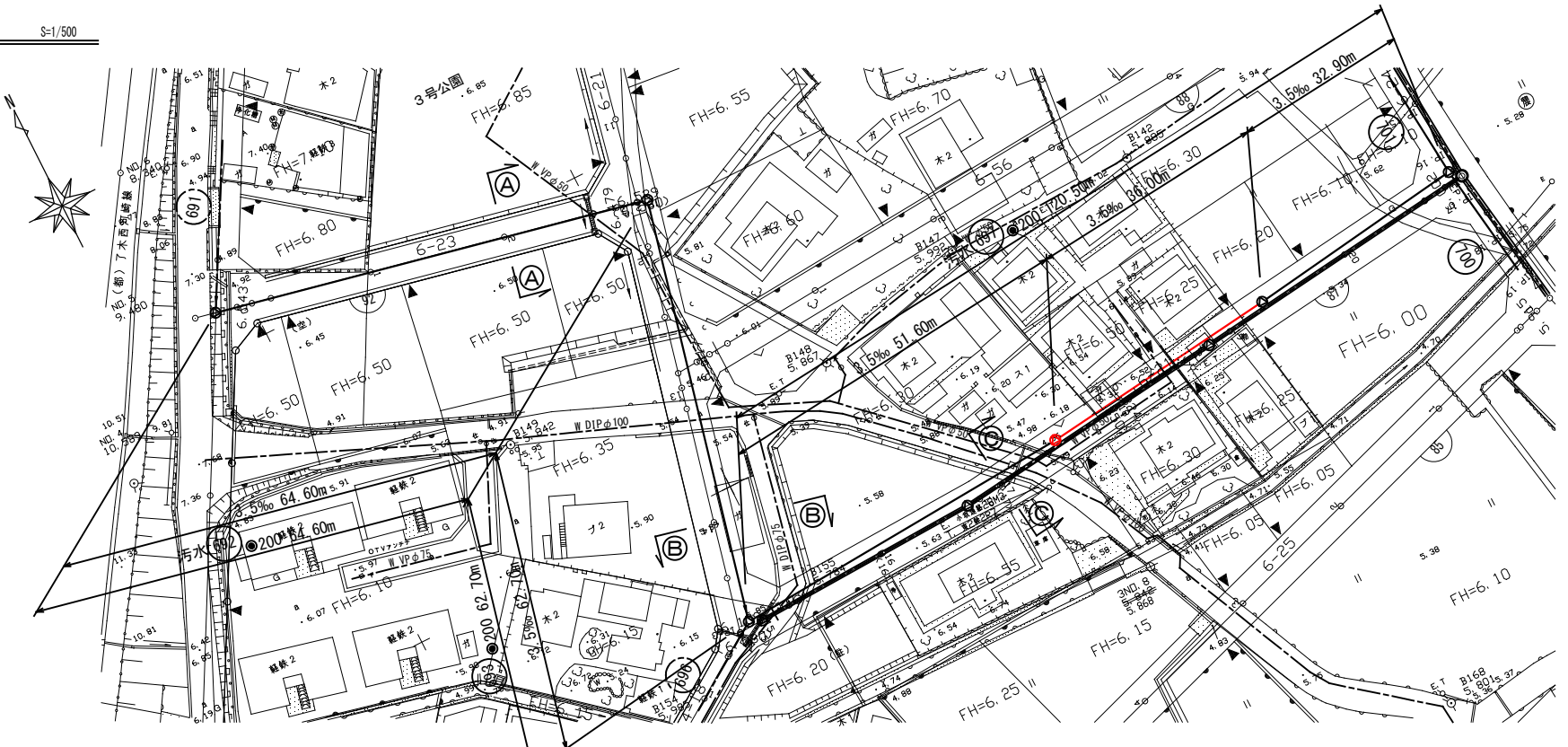
平面図・縦断面図・横断面図

三原市

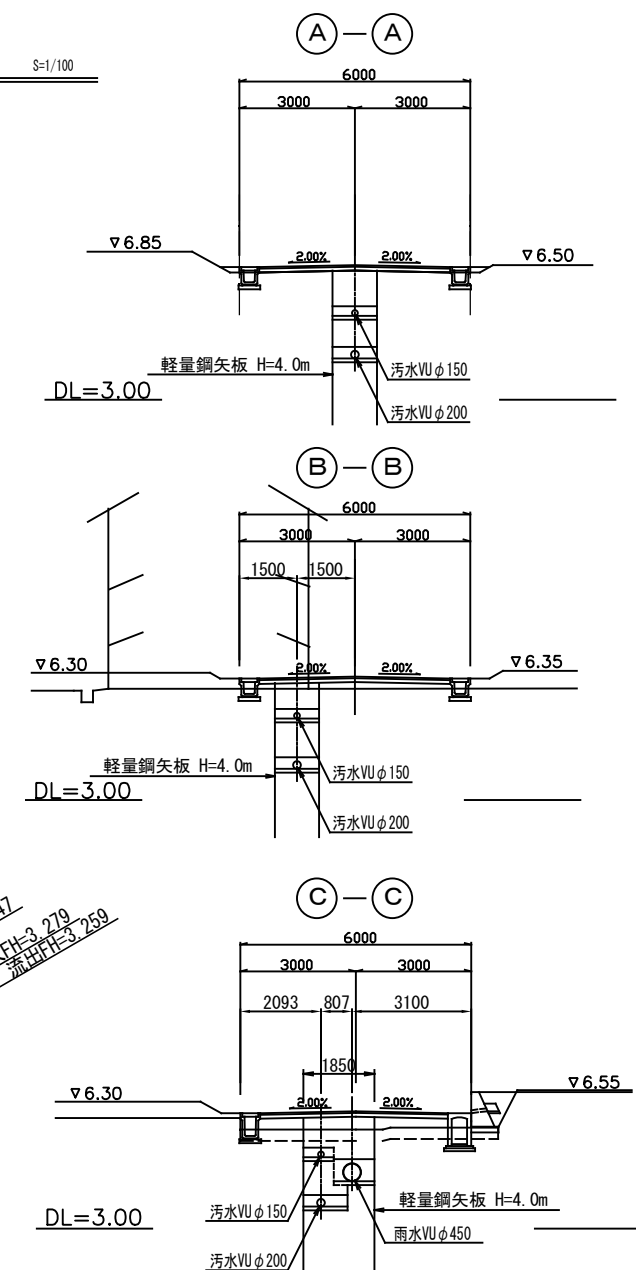
平面図 S=1/500

凡例

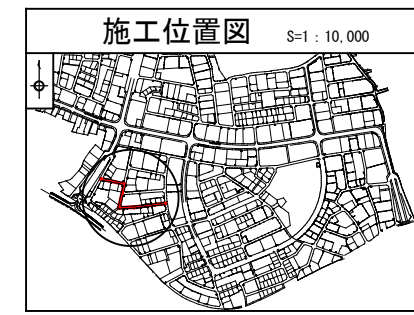
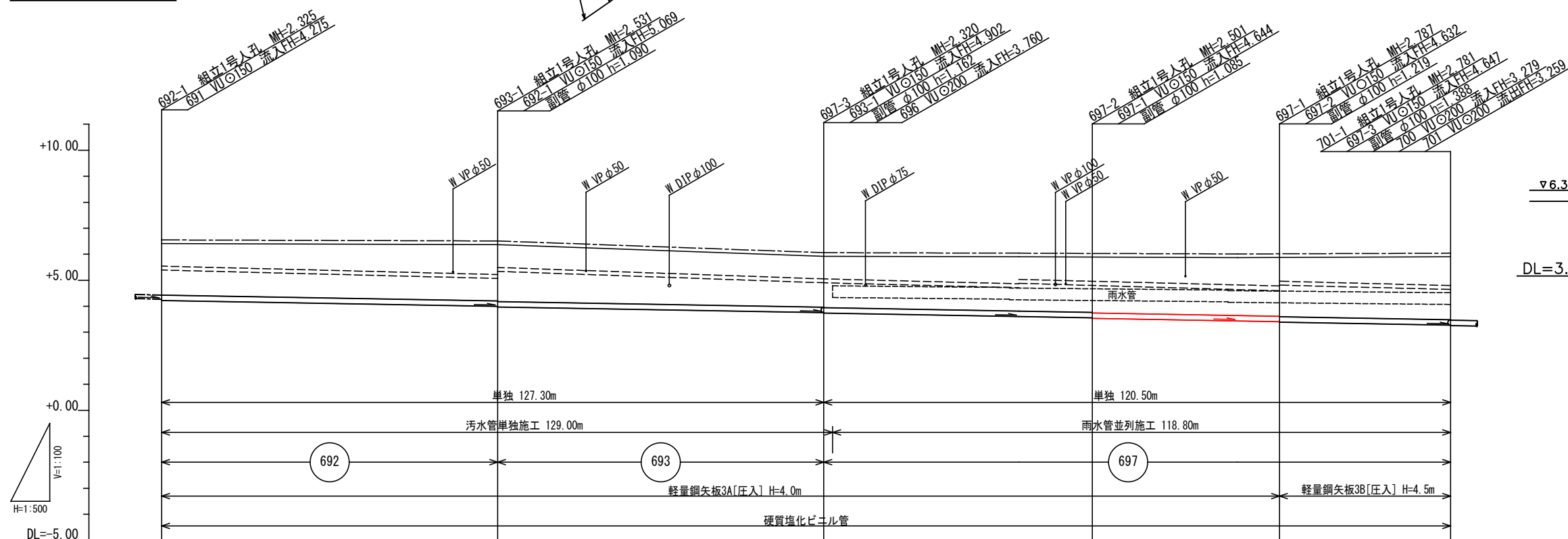
→	汚水実施
---→	汚水計画
---W---	計画水道管
---W---	既設水道管
---N---	NTT地下ケーブル
□	特殊人孔
⊙	組立2号人孔
⊙	組立1号人孔
●	組立0号人孔
⊗	小型塩ビマンホール
●	汚水宅内樹、取付管



横断面図 S=1/100



縦断面図 V=1/100 H=1/500



管径	mm	VUφ200	VUφ200	VUφ200	VUφ200	VUφ200
勾配	‰	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
区間距離	m	64.60	62.70	51.60	36.0	32.90
計画地盤高	m	6.55	6.51	6.06	6.04	6.18
現況地盤高	m	6.41	6.37	5.92	5.90	6.04
土被り	m	2.12	2.32	2.09	2.27	2.56
管底高	m	4.225	3.989	3.760	3.559	3.413
掘削深	m	2.29	2.50	2.27	2.45	2.73
追加距離	m	0.00	64.60	127.30	178.9	214.9
測点		692-1	693-1	697-3	697-2	697-1

種別	管番号	管径	工法	延長
汚水	692	φ200	開削・単独	64.60
汚水	693	φ200	開削・単独	62.70
汚水	697	φ200	開削・単独	120.50
計				247.80

令和5年度(R4繰) 公共下水道事業(汚水)

工事名	東本通川第2排水区雨水管汚水管新設工事(5-1工区)		
工事場所	三原市 本郷南四丁目		
図面番号	2	縮尺	図示

平面図・縦断面図・横断面図

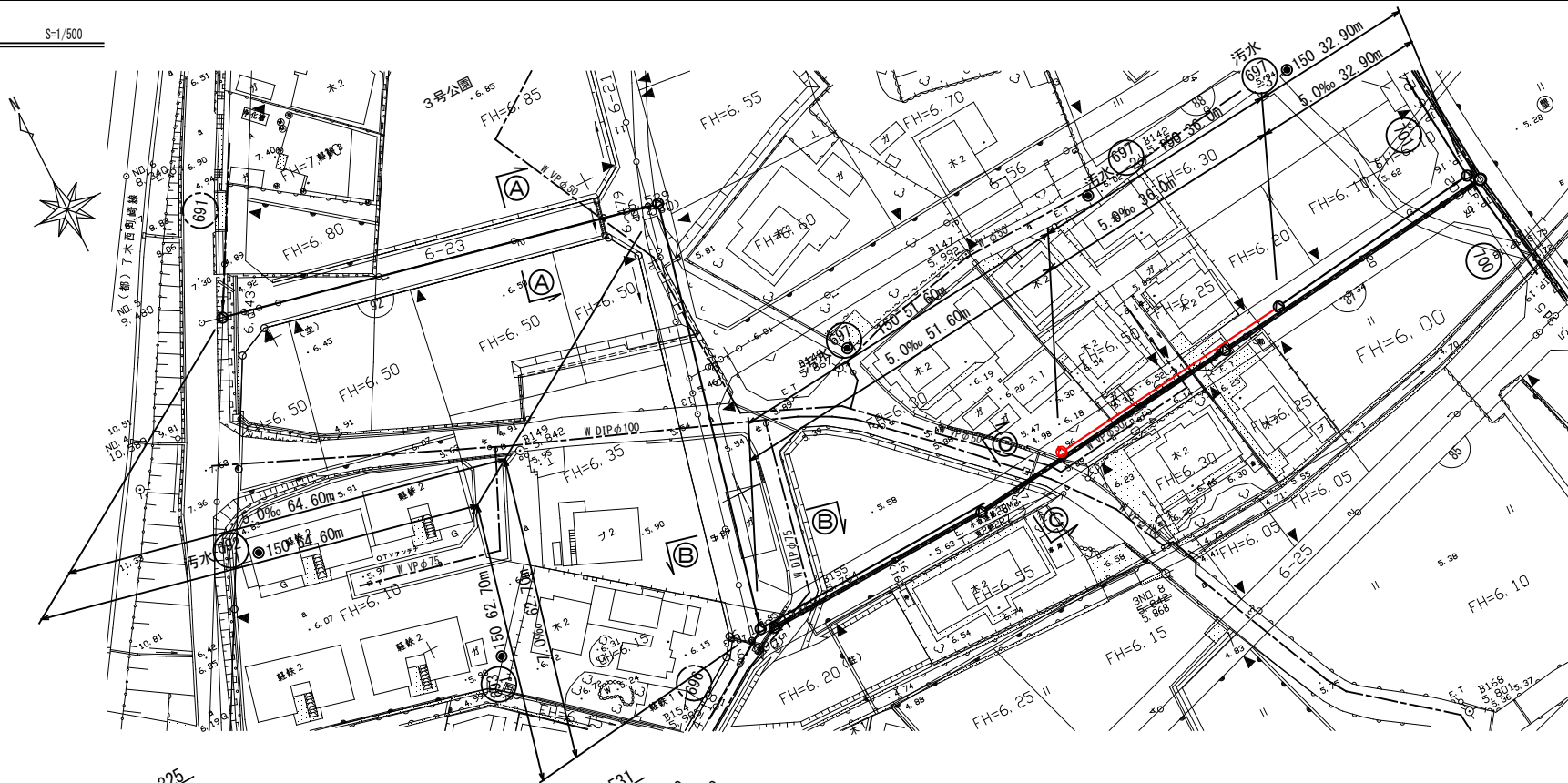
三原市



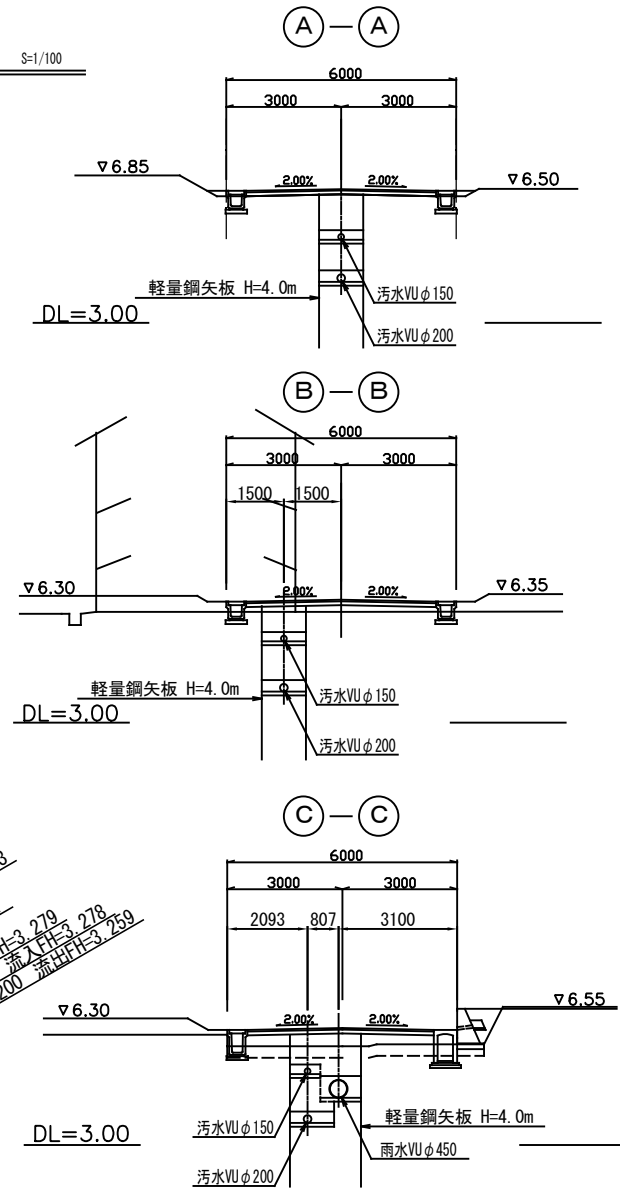
平面図 S=1/500

凡例

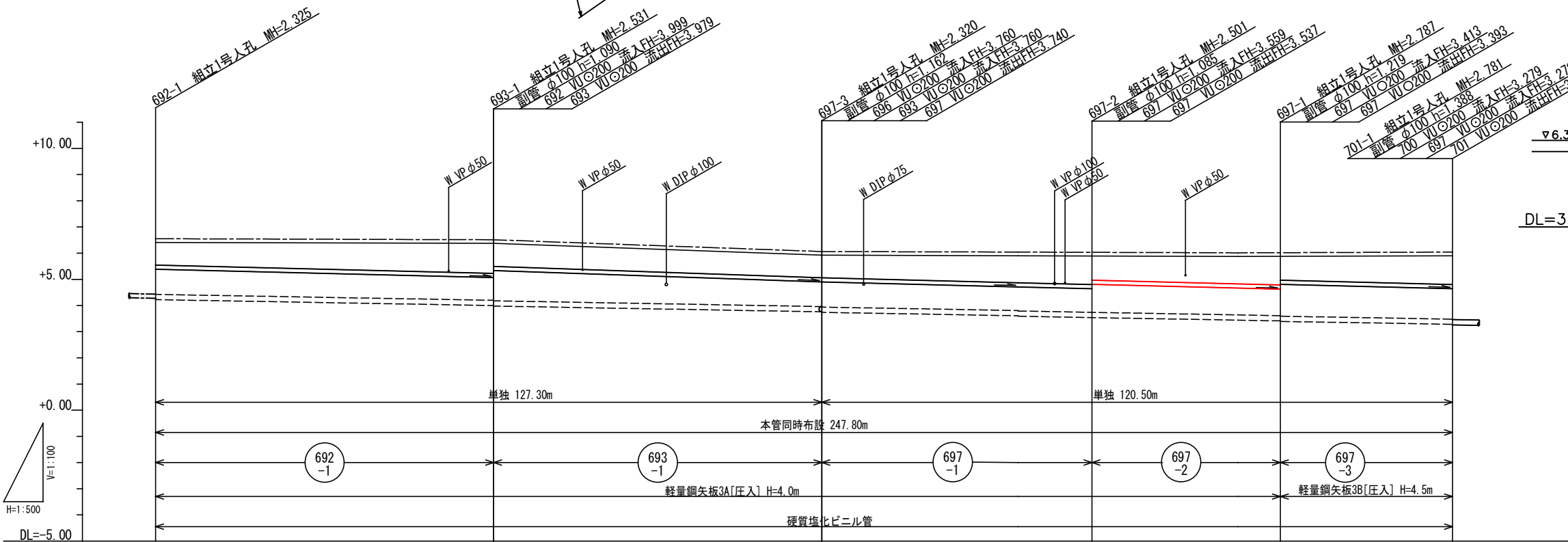
→	汚水実施
→	汚水計画
—W—	計画水道管
—W—	既設水道管
—N—	NTT地下ケーブル
□	特殊人孔
⊙	組立2号人孔
⊙	組立1号人孔
●	組立0号人孔
⊗	小型塩ビマンホール
—	汚水宅内樹、取付管



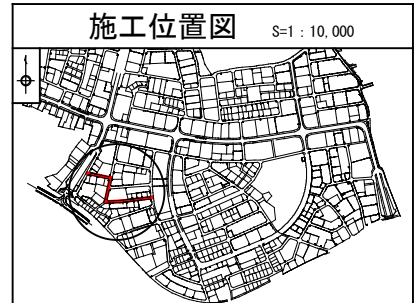
横断面図 S=1/100



縦断面図 V=1/100 H=1/500



管径	mm	VUφ150	VUφ150	VUφ150	VUφ150	VUφ150
勾配	‰	5.0	7.0	5.0	5.0	5.0
区間距離	m	64.60	62.70	51.60	36.00	32.90
計画地盤高	m	6.55	6.51	6.06	6.04	6.18
現況地盤高	m	6.41	6.37	5.92	5.90	6.04
土被り	m	1.00	1.28 1.01	1.00	1.29 1.12	1.39 1.21
管底高	m	5.392	5.069 5.341	4.902	4.644 4.812	4.632 4.812
掘削深	m	1.13	1.41 1.14	1.13	1.40 1.20	1.51 1.33
追加距離	m	0.00	64.60	127.30	178.90	214.90
測点		692-1	693-1	697-3	697-2	697-1



種別	管番号	管径	工法	延長
汚水	692-1	φ150	開削・単独	64.60
汚水	693-1	φ150	開削・単独	62.70
汚水	697-1	φ150	開削・単独	37.50
汚水	697-2	φ150	開削・単独	50.10
汚水	697-3	φ150	開削・単独	32.90
計				247.80

令和5年度(R4繰) 公共下水道事業(汚水)

工事名 東本通川第2排水区雨水管汚水管新設工事(5-1工区)

工事場所 三原市 本郷南四丁目

図面番号 3 縮尺 図示

平面図・縦断面図・横断面図

三原市

# 参 考 資 料

— 東本通川第2排水区雨水管污水管新設工事（5-1工区） —

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 65 三原市(本郷) 00-05.04.01(0)  1 公共(一般)	凡例 Co ……コンクリート      As ……アスファルト DT ……ダンプトラック      BH ……バックホウ CC ……クローラークレーン      TC ……トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
	当世代 31 下水道工事(2) 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費 雨水補助					X1000
管路施設(開削工法) 雨水補助 (VU 450mm)	1	式			Y1101 レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y110101 レベル2
管路土工	1	式			Y11010101 レベル3
管路掘削	1	式			Y1101010101 レベル4
機械掘削工(バックホウ)	150	m3			SG1D0001002 00 単第0 -0001 表
管路埋戻 発生土	1	式			Y1101010102 レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	32	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0003 表
管路埋戻 再生砂	1	式			Y1101010102 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	31	m3			単第0 -0005 表
発生土処理					Y1101010103レベル4
	1	式			
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	110	m3			単第0 -0006 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費					F0001 00
	110	m3			
管布設工					Y11010102 レベル3
	1	式			
硬質塩化ビニル管 【VU 450mm】					Y1101010203レベル4
	33.1	m			
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 450mm					SG1D0006001 00
	33.1	m			単第0 -0008 表
硬質塩化ビニル管 450 VU					F0015 00
	33.1	m			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
伸縮可とう継手(管)	2	箇所			Y1101010211 レベル4
マンホール用可とう継手 450VU	2	個			F0016 00
埋設標識テープ	33.1	m			Y1101010216 レベル4
埋設表示シート 150×50 2倍	33.1	m			F0014 00
管基礎工	1	式			Y11010103 レベル3
砂基礎 再生砂	33.1	m			Y1101010301 レベル4
砂基礎工(機械施工)	10	m3			SG1D0019002 00
再生砂	10	m3			単第0 -0010 表 TTPC00011 00
管路土留工	1	式			Y11010105 レベル3

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鋼矢板土留					Y1101010503レベル4
	1	式			
軽量鋼矢板油圧圧入工					SG1D0033005 00
	216	枚			単第0 -0011 表
軽量鋼矢板油圧引抜工					SG1D0033006 00
	216	枚			単第0 -0013 表
油圧式杭圧入引抜機据付解体工					SG1D0033007 00
	2	回			単第0 -0014 表
土留支保工(軽量金属支保工)					SG1D0033008 00
	36	m			単第0 -0015 表
土留支保工(軽量金属支保工)					SG1D0033008 00
	36	m			単第0 -0016 表
土留材質料					Y4999 レベル4
	1	式			
軽量鋼矢板賃料 (雨水補助)					F0011 00
	1	式			
支保材質料 (雨水補助)					F0012 00
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
開削水替工					Y11010109 レベル3
	1	式			
開削水替					Y1101010901 レベル4
	1	式			
ポンプ運転工					SG1D0042001 00
	6	日			単第0 -0017 表
据付・撤去工					SG1D0042002 00
	1	現場			単第0 -0019 表
マンホール工					Y110102 レベル2
	1	式			
組立マンホール工					Y11010202 レベル3
	1	式			
組立1号マンホール					Y1101020202 レベル4
	1	箇所			
雨水用人孔鉄蓋 (デザイン入・密閉ロック式) 転落防止装置付・ 600用 T-25					F0022 00
	1	組			
変形防止調整金具					F0024 00
	1	組			



# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
無収縮モルタル 25kg袋	1	袋			TH003190 00
マンホール付属品 調整リング 600×150	1	個			TH003102 00
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×450	1	個			TH003066 00
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×1500	1	個			TH003092 00
円形1号(内径900)I種 底版 H=130	1	個			TH003096 00
マンホール削孔費 0・1号(I種) 塩ビ管用,径450用	1	個所			TH003140 00
底部工(組立式)(組立1号マンホール)	1	箇所			SG1D0053001 00 単第0 -0020 表
組立1号マンホール 1号(内径900mm) 深さ3m以下	1	箇所			SG1D0053002 00 単第0 -0024 表
仮設工	1	式			Y11010601 レベル3

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導員	1	式			Y1101060101レベル4
交通誘導警備員B	24	人			R0369 00
付帯工	1	式			Y110106 レベル2
舗装撤去工	1	式			Y11010601 レベル3
舗装版切断	27	m			Y1101060101レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	27	m			SPK22040303 00 単第0 -0025 表
舗装版破碎	35	m2			Y1101060102レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下	35	m2			SPK22040302 00 単第0 -0026 表
殻運搬処理	1	m3			Y1101060105レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離3.5km以下(1.5km超)	1	m3			SPK22040142 00  単第0 -0027 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
ASガラ処分費	3	t			F0002 00
既設構造物撤去工	1	式			Y11010609 レベル3
既設構造物撤去	1	m3			Y1101060901 レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	1	m3			SDT00031 00  単第0 -0028 表
コンクリート塊運搬処理	1	m3			Y1101060905 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	1	m3			SPK22040142 00  単第0 -0029 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
Coガラ処分費					F0003 00
	3	t			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
	1	式			
運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			
仮設材運搬費					YZZ04001004 レベル4
	14.1	t			
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 9.7km 製品長 12m以内					S1000007 00
	1	式			単第0 -0030 表
技術管理費					Z0006
技術管理費					YZZ06 レベル2
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技術管理費					YZZ06001 レベル3
	1	式			
管内調査費					YZZ06001004 レベル4
	33.1	m			
管路調査工 洗淨・カメラ調査・報告書含む					V0100 00
	33.1	m			単第0 -0033 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 工事原価 **					

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率... 率参照額.....
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費 **					

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費 汚水単独					X2000
管路施設(開削工法) 汚水単独 (VU 150mm)	1	式			Y1101 レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y110101 レベル2
管路土工	1	式			Y11010101 レベル3
管路埋戻 再生砂	1	式			Y1101010102 レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	0.4	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0005 表
管布設工	1	式			Y11010102 レベル3
硬質塩化ビニル管 【VU 150mm】	35.1	m			Y1101010203 レベル4
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 150mm	35.1	m			SG1D0006001 00 単第0 -0040 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
伸縮可とう継手(管)	2	箇所			Y1101010211 レベル4
マンホール用可とう継手 150VU	2	個			F0013 00
埋設標識テープ	35.1	m			Y1101010216 レベル4
埋設表示シート 150×50 2倍	35.1	m			F0014 00
管基礎工	1	式			Y11010103 レベル3
砂基礎 再生砂	2	m			Y1101010301 レベル4
砂基礎工(機械施工)	0.2	m3			SG1D0019002 00
再生砂	0.2	m3			単第0 -0010 表 TTPC00011 00
管路施設(開削工法) 汚水単独 (VU 150mm)	1	式			Y1101 レベル1



# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管きょ工(開削)					Y110101 レベル2
	1	式			
管路土工					Y11010101 レベル3
	1	式			
管路掘削					Y1101010101 レベル4
	1	式			
機械掘削工(バックホウ)					SG1D0001002 00
	6	m3			単第0 -0001 表
管路埋戻 発生土					Y1101010102 レベル4
	1	式			
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	5	m3			単第0 -0003 表
管路埋戻 再生砂					Y1101010102 レベル4
	1	式			
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	0.4	m3			単第0 -0005 表
管布設工					Y11010102 レベル3
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
硬質塩化ビニル管 【VU 200mm】	35.1	m			Y1101010203レベル4
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 200mm	35.1	m			SG1D0006001 00 単第0 -0041 表
伸縮可とう継手(管)	2	箇所			Y1101010211レベル4
マンホール用可とう継手 200VU	2	個			F0010 00
埋設標識テープ	35.1	m			Y1101010216レベル4
埋設表示シート 150×50 2倍	35.1	m			F0014 00
管基礎工	1	式			Y11010103 レベル3
砂基礎 再生砂	2	m			Y1101010301レベル4
砂基礎工(機械施工)	0.2	m3			SG1D0019002 00 単第0 -0010 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
再生砂					TTPC00011 00
	0.2	m3			
マンホール工					Y110102 レベル2
	1	式			
組立マンホール工					Y11010202 レベル3
	1	式			
組立1号マンホール					Y1101020202レベル4
	1	箇所			
汚水用人孔鉄蓋(デザイン入・密閉ロック式) 転落防止装置付・600用 T-25					F0023 00
	1	組			
変形防止調整金具					F0024 00
	1	組			
無収縮モルタル 25kg袋					TH003190 00
	2	袋			
マンホール付属品 調整リング 600×100					TH003100 00
	1	個			
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×600					TH003068 00
	1	個			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×1800	1	個			TH003094 00
円形1号(内径900)I種 底板 H=130	1	個			TH003096 00
マンホール削孔費 0・1号(I種) 塩ビ管用,径150用	2	箇所			TH003128 00
マンホール削孔費 0・1号(I種) 塩ビ管用,径200用	1	箇所			TH003130 00
底部工(組立式)(組立1号マンホール)	1	箇所			SG1D0053001 00 単第0 -0020 表
組立1号マンホール 1号(内径900mm) 深さ3m以下	1	箇所			SG1D0053002 00 単第0 -0024 表
内副管	1	箇所			Y1101020208レベル4
内副管取付工	1	箇所			SG1D0051002 00 単第0 -0042 表
内副管用マンホール継手 150 - 100	1	個			F0019 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
90°曲管(90ST) 副管用継手,呼び径100	1	個			TH010548 00
接着受口片受け直管(ST) 呼び径100(114×3.1×4)	1	本			TH010436 00
取付バンド 100～120 アンカボルト付き	2	個			F0020 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
管内調査費	70.2	m			YZZ06001004 レベル4
管路調査工 洗浄・カメラ調査・報告書含む	70.2	m			V0100 00
					単第0 -0033 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 工事原価 **					
一般管理費率分					
計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率... 率参照額.....
契約保証費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費 **					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					







# 施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0003 表

頁0 -0024

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3			C=6 材料別途		

# 施工単価表

タンパ締固め

SPK22040021

単第0 -0004 表

機械構成比: 1.36% 労務構成比: 97.27% 材料構成比: 1.37% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,428.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	1.36%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.37%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.37%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

# 施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0005 表

頁0 -0026

1

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	126.300	m3			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3 E=126.3 土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)			C=2 再生砂		



# 施工単価表

ダンプトラック運転  
011 オンロード ディーゼル

SM2203010

単第0 -0007 表

1

日 当り

4t積級

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	34.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (普)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 011_オンロード ディーゼル C=1 運転労務数量(人/日) E=1.29 機械損料数量(供用日/日)			B=2 4t積級 D=34 燃料消費量(L/日) F=2 路面状況:普通		

# 施工単価表

硬質塩化ビニル管布設工  
呼び径 450mm

SG1D0006001

単第0 -0008 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.27	人			
特殊作業員	0.54	人			
普通作業員	0.54	人			
BH(クローラ型クレーン機能付)運転 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.27	日			単第0-0009 表
諸雑費	1	%			#09
1m当り(計/10m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=7 呼び径 450mm					







# 施工単価表

軽量鋼矢板油圧圧入工

SG1D0033005

単第0 -0011 表

頁0 -0032

1 枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.185	人			0.185*1
特殊作業員	0.185	人			0.185*1
とび工	0.185	人			0.185*1
油圧式杭圧入引抜機運転 022_エンジン式ユニット 排1 軽量鋼矢板用 圧入294/引抜力392kN(30/40t)	0.185	日			単第0-0012 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.185	日			
諸雑費	1	式			
1枚当り(計/10枚)					
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=3 圧入長(m) 4.0以下					



# 施工単価表

軽量鋼矢板油圧引抜工

SG1D0033006

単第0 -0013 表

頁0 -0034

1 枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.128	人			0.128*1
特殊作業員	0.128	人			0.128*1
とび工	0.128	人			0.128*1
油圧式杭圧入引抜機運転 022_エンジン式ユニット 排1 軽量鋼矢板用 圧入294/引抜力392kN(30/40t)	0.128	日			単第0-0012 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.128	日			
諸雑費	1	式			
1枚当り(計/10枚)					
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=3 引抜き長(m) 4.0以下					







# 施工単価表

ポンプ運転工

SG1D0042001

単第0 -0017 表

頁0 -0038

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.11	人			
普通作業員	0.05	人			
工事用水中ポンプ損料	1	日			単第0-0018 表
発動発電機 ガソリンエンジン駆動 定格容量3kVA	1	日			
諸雑費	18	%			#09
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 作業時排水 C=1 ポンプ1台			B=2 D=1	発動発電機 普通型(潜水ポンプ) 口径50mm全揚程5m	









# 施工単価表

コンクリート

SPK22040144

単第0 -0021 表

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

44.48%

材料構成比:

55.52%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

28,841.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	24.11%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.63%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	8.56%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.52%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		



# 施工単価表

モルタル練

SPK22040145

単第0 -0023 表

高炉

混合比1:2

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 62.18%

材料構成比: 37.82%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

45,170.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	62.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	28.05%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	9.77%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉 C=1 -(全ての費用)			B=2 混合比1:2		



# 施工単価表

舗装版切断

SPK22040303

単第0 -0025 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 6.20%

労務構成比:

54.85%

材料構成比: 38.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

565.94000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	4.19%		コンクリートカッター バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.02%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.77%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.28%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	36.13%		コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.91%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009





# 施工単価表

舗装版破碎

アスファルト舗装版

機械構成比: 9.54%

労務構成比:

SPK22040302

障害無し 舗装版厚15cm以下

82.52%

材料構成比:

7.94%

市場単価構成比:

0.00%

単第0 -0026 表

1  
標準単価:

m2 当り

170.31000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	9.54%		バックホウ [クローラ型・排ガス対策型(第2次)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00004 KTPT00004
土木一般世話役	29.36%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	28.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.94%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

# 施工単価表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 47.26% 労務構成比: 37.92%

SPK22040142

DID区間無し 運搬距離3.5km以下(1.5km超)

材料構成比: 14.82%

単第0 -0027 表

1  
標準単価:

m3 当り

2,157.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.26%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	37.92%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.82%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=15 運搬距離3.5km以下(1.5km超)		



# 施工単価表

頁0 -0051

殻運搬

SPK22040142

単第0 -0029 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

1

m3 当り

機械構成比: 43.25% 労務構成比:

42.18% 材料構成比: 14.57% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,203.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.57%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		





















# 施工単価表

報告書作成工

V0310

単第0 -0039 表

頁0 -0061

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
測量主任技師 (外業) 管理技師	1.0	人			
測量技師 (外業) 管路調査技師	1.0	人			
測量技師補 (外業) 管路調査助手	1.0	人			
D V D	1	枚			
写真代	1	式			
雑材料	10	%			#01
1m当り		m			
*** 単位当り ***	1	m			









# 数量総括表

— 東本通川第2排水区雨水管污水管新設工事（5-1工区） —

数量内訳書

工事区分 (レベル1)	工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	形状・寸法	単位	合計	雨水補助	雨水単独	汚水補助	汚水単独
管路	管きょ工 (開削 VUφ450mm)									
			路線延長		m	34.0	34.0			
			管体延長		m	33.1	33.1			
		管路土工	管路掘削	BH 0.28m3	m3	150	147.8			
			管路埋戻	発生土	m3	32	32.1			
				砂	m3	31	31.2			
			発生土処理		m3	110	112.1			
		管布設工	硬質塩化ビニル管	VUφ450mm	m	33.1	33.1			
			継手類	可とう継手φ450mm	箇所	2	2			
			埋設表示シート	150*50 2倍	m	33.1	33.1			
		管基礎工	砂基礎		m	33.1	33.1			
					m3	10	9.9			
		管路土留工	軽量鋼矢板打込工	L=4.00m	m	36.0	36.0			
					枚	216	216			
			2段支保工		m	36.0	36.0			

数量内訳書

工事区分 (レベル1)	工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	形状・寸法	単位	合計	雨水補助	雨水単独	汚水補助	汚水単独
		開削水替								
			ポンプ運転工		日	6	6			
	マンホール工	組立マンホール工	組立1号マンホール							
			鉄蓋	転落防止 内径600	組	1	1			
			調整金具		個	1	1			
			調整リング	H=150mm	個	1	1			
			斜壁	H=450mm	個	1	1			
			躯体	H=1500mm	個	1	1			
			底版	H=130mm	個	1	1			
			削孔	VU450mm	箇所	1	1			
			ブロック据付	H=2.0m~3.0m以下	箇所	1	1			
			底部工		箇所	1	1			
			調整モルタル	25kg	袋	1	1			
	仮設工									
		交通誘導員			人	24	24			

数量内訳書

工事区分 (レベル1)	工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	形状・寸法	単位	合計	雨水補助	雨水単独	汚水補助	汚水単独
	付帯工									
		舗装撤去工	舗装版切断	As t =15cm以下	m	27	26.9			
			舗装版破碎	As t =15cm以下	m2	35	35.2			
			舗装版破碎(仮舗)	As t =15cm以下	m2					
			殻運搬処理	As殻	m3	1	1.1			
				As殻	t	3	2.6			
		舗装復旧工	下層路盤	再生切込碎石 t =10cm	m2	35	35.2			
			上層路盤	粒調碎石 t =12cm	m2	35	35.2			
			表層	再生密粒度アスコン t =5cm	m2					
				再生粗粒度アスコン t =3cm	m2					
				再生細粒度アスコン t =4cm	m2					
				再生粗粒度アスコン t =3cm	m2					
			表層(仮舗)	再生密粒度アスコン t =3cm	m2	35	35.2			
				再生密粒度アスコン t =4cm	m2					
		既設水路撤去	Co取壊し・殻運搬処理	Co殻	m3	1	1.2			
					t	3	2.8			









[ 補助 ]

塩ビ管管布設工

No.2

( ) 工事

管径 φ =	450	mm
現況表層厚 =		m
現況路盤厚 =		m

道路幅員 =	6.00	m
掘削幅 =	1.85	m

(上下路盤)

復旧表層厚 =		m
復旧路盤厚 =		m

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	人孔延長 m	掘削深 m	※掘削工の選定は、市指針参照。 掘削土量				管延長 m	ゴ片受 輪受け 受直口 管(SRA) m	プ レ ド ー 直 ン エ 管 (P E) m	マ ン と ホ ウ ー 継 ル 手 個			備考
					人 力 m <sup>3</sup>	B H 0.13m <sup>3</sup>	B H 0.28m <sup>3</sup>	B H 0.45m <sup>3</sup>							
229	229-1 229-2	34.00	0.45 0.45	1.94 1.94				147.8	33.10	32.00	1.10	2			汚水管 並列施工
計		34.00						147.8	33.10	32.00	1.10	2			
本管	プレールエンド直管 = 1.10 ゴム輪受け口片受直管 32.00 ÷ 4.00m/本 = 8本 32.00														
土	掘削	人力掘削工	人力				m <sup>3</sup>	合計							
		機械掘削工	バックホウ 0.13m <sup>3</sup>				m <sup>3</sup>								
		機械掘削工	バックホウ 0.28m <sup>3</sup>				m <sup>3</sup>								
		機械掘削工	バックホウ 0.45m <sup>3</sup>				m <sup>3</sup>	147.8	147.8	(m当り数量 別紙計算書より)					
埋戻	発生土	V = 0.943 × 34.00								32.1 (m当り数量 別紙計算書より)					
		砂埋戻し V = 0.943 × 33.10								31.2 (m当り数量 別紙計算書より)					
		砂基礎工 V = 0.300 × 33.10								9.9 (m当り数量 別紙計算書より)					
工	残土	V = 147.8 - (32.1 ÷ 0.9)								112.1					

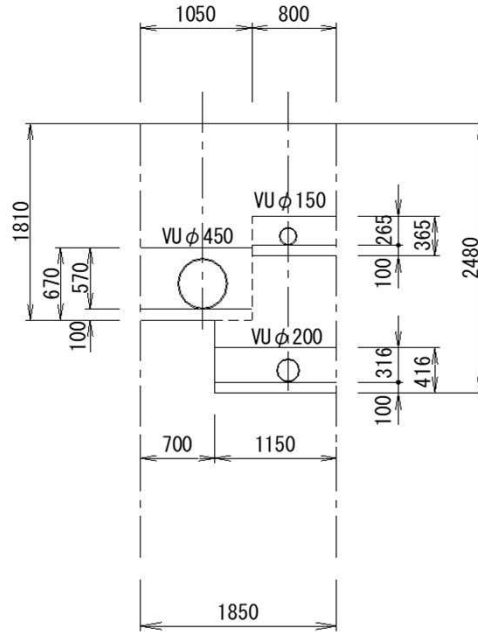






土工 単位数量 (並列施工区間)

No229-1~No229-2



1m当り数量

平均掘削深				
φ 450	1.94	m		
φ 200	2.60	m		
掘削工				
φ 450	1.94	× 0.70	× 1.00	= m3 1.358
φ 200	2.60	× 1.15	× 1.00	= m3 2.990
			計	m3 4.348
埋戻工				
			管外径	
砂埋戻し φ 450	( 0.570 × 1.05 - π/4 × 0.470 <sup>2</sup> )	× 1.00	=	m3 0.425
φ 200	( 0.316 × 1.15 - π/4 × 0.216 <sup>2</sup> )	× 1.00	=	m3 0.327
φ 150	( 0.265 × 0.80 - π/4 × 0.165 <sup>2</sup> )	× 1.00	=	m3 0.191
			計	m3 0.943
砂基礎工 φ 450	0.10	× 1.05	× 1.00	= m3 0.105
φ 200	0.10	× 1.15	× 1.00	= m3 0.115
φ 150	0.10	× 0.80	× 1.00	= m3 0.080
			計	m3 0.300
発生土 φ 450	( 1.94 - 0.670 )	× 1.05	× 1.00	= m3 1.334
φ 200	( 2.60 - 0.416 - 0.365 )	× 0.80	× 1.00	= m3 1.455
			計	m3 2.789













φ150 塩ビ管管布設工集計表

( ) 工区 [ 単独 ]

名 称	形 状 寸 法		数 量 内 訳 書					合計	単位	設計数量
			No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5			
管路土工	管路掘削	人力							m3	
		BH 0.13m3							m3	
		BH 0.28m3							m3	
		BH 0.45m3							m3	
	管路埋戻(発生土)	人力							m3	
		BH 0.13m3							m3	
		BH 0.28m3							m3	
		BH 0.45m3							m3	
	管路埋戻(砂)	人力							m3	
		BH 0.13m3							m3	
		BH 0.28m3							m3	
		BH 0.45m3	0.4					0.4	m3	
	発生土処理	人力							m3	
		BH 0.13m3 2t車							m3	
		BH 0.28m3 4t車							m3	
		BH 0.45m3 4t車							m3	
管基礎工	砂基礎	人力							m3	
		BH 0.13m3							m3	
		BH 0.28m3							m3	
		BH 0.45m3	0.2					0.2	m3	
	砂基礎延長		1.55					1.55	m	
管布設工	路線延長		36.00					36.00	m	
	管体延長		35.10					35.10	m	
	ゴム輪受け口片受直管 φ150mm×4.00m		32.00					32.00	m	
			8					8	本	
	プレート直管 φ150mm×4.00m		3.10					3.10	m	
								1	本	
	可とう継手 φ150mm		2					2	個	
	副管用マンホール継手 φ150mm×1.00m								個	
	上流用マンホール継手 φ150mm×0.50m								個	
	内副管用T字継手 φ150mm×1.00m								個	



[ 単独 ]

塩ビ管管布設工

No.1

( ) 工事

管径φ=	150	mm
現況表層厚=		m
現況路盤厚=		m

道路幅員=	6.00	m
掘削幅=	1.15	m

(上下路盤)

復旧表層厚=		m
復旧路盤厚=		m

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	人孔延長 m	掘削深 m	※掘削工の選定は、市指針参照。 掘削土量				管延長 m	ゴ片受輪 受け直 口管 (SRA) m	ブ レ ド   直 ン エ 管 (P E) m	マ ン と ホ ウ   継 ル 手 個			備考
					人 力 m <sup>3</sup>	B H 0.13m <sup>3</sup>	B H 0.28m <sup>3</sup>	B H 0.45m <sup>3</sup>							
					力	H	H	H							
697-2	697-1 697-2	(2.00) 36.00	0.45 0.45	1.36 1.36				3.1	(1.55) 35.10	32.00	3.10	2			並列土工 雨水に計上
計		(2.00) 36.00						3.1	(1.55) 35.10	32.00	3.10	2			

本管 プレーンエンド直管 = 3.10  
 ゴム輪受け口片受直管 32.00 ÷ 4.00m/本 = 8本 32.00

土 工	掘 削	発生土		m <sup>3</sup>	合計	備考
		人力掘削工	人力			
		機械掘削工	バックホウ 0.13m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>		
		機械掘削工	バックホウ 0.28m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>		
		機械掘削工	バックホウ 0.45m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	本管φ200に計上
	埋 戻	発生土	V =	m <sup>3</sup>		本管φ200に計上
		砂埋戻し	$V = \{(0.265 \times 1.15) - (\pi/4 \times 0.165^2)\} \times 1.55$	m <sup>3</sup>	0.4	
		砂基礎工	V = 1.15 × 0.10 × 1.55	m <sup>3</sup>	0.2	
	残 土	V = 0.0 - (0.0 ÷ 0.9)		m <sup>3</sup>		管廻り埋戻高 = 0.365 m 管外径 = 0.165 m 砂埋戻し高さ = 0.265 m 砂基礎高さ = 0.100 m

[ 単独 ]

塩ビ管管布設工

No.1

( ) 工事

管径 φ = 200 mm  
 現況表層厚 = m  
 現況路盤厚 = m

道路幅員 = 6.00 m  
 掘削幅 = 1.15 m  
 (上下路盤)

復旧表層厚 = m  
 復旧路盤厚 = m

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	人孔延長 m	掘削深 m	※掘削工の選定は、市指針参照。 掘削土量				管延長 m	ゴ片受 輪受け 受直 口管 (SRA) m	プ レ ド   直 ン エ 管 (P E) m	マ 可 ン と ホ ウ   継 ル 手 個			備考
					人 力 m <sup>3</sup>	B H 0.13m <sup>3</sup>	B H 0.28m <sup>3</sup>	B H 0.45m <sup>3</sup>							
697	697-1 697-2	(2.00) 36.00	0.45 0.45	2.60 2.60				6.0	(1.55) 35.10	32.00	3.10	2			並列土工 雨水に計上
計		(2.00) 36.00						6.0	(1.55) 35.10	32.00	3.10	2			
本管		プレインエンド直管 = 3.10 ゴム輪受け口片受直管 32.00 ÷ 4.00m/本 = 8本 32.00													
土	掘削	人力掘削工	人 力					m <sup>3</sup>	合計						
		機械掘削工	バックホウ	0.13m <sup>3</sup>				m <sup>3</sup>							
		機械掘削工	バックホウ	0.28m <sup>3</sup>				m <sup>3</sup>							
		機械掘削工	バックホウ	0.45m <sup>3</sup>			6.0	m <sup>3</sup>	6.0						
埋戻	埋戻	発生土	$V = 6.0 - (0.416 + 0.00) \times 1.15 \times 2.00$					m <sup>3</sup>	5.0						
		砂埋戻し	$V = \{ (0.316 \times 1.15) - (\pi/4 \times 0.216^2) \} \times 1.55$					m <sup>3</sup>	0.5						
		砂基礎工	$V = 1.15 \times 0.10 \times 1.55$					m <sup>3</sup>	0.2						
工	残土	$V = 6.0 - (5.0 \div 0.9)$					m <sup>3</sup>	0.4							
										管廻り埋戻高 = 0.416 m					
									管外径 = 0.216 m						
									砂埋戻し高さ = 0.316 m						
									砂基礎高さ = 0.100 m						









# 副管設置工 No.1

( ) 工区 [補助]

路線名	人孔番号	人孔種別	流出管			流入管			副管設置高 m	防護 コンクリート 高 m	防護 コンクリート m3	型枠 m2	基礎 砕石 t=20cm m2	材料(副管径φ100mm)			
			管種	管径	管底高	管種	管径	管底高						副管用 90° 曲 管 個	貼付型 内副管 継手 個	PE直管 m	副管用 カラー 個
				mm	m		mm	m									
697-2	697-1	1号	VU	200	3.413	VU	150	4.632	1.219						1	0.9	
計															1	0.9	0.2本

- |               |        |
|---------------|--------|
| 1.0m未満        | 箇所     |
| 1.0m以上～1.5m未満 | 3.0 箇所 |
| 1.5m以上～2.0m未満 | 箇所     |
| 2.0m以上～2.5m未満 | 箇所     |
| 2.5m以上～3.0m未満 | 箇所     |
| 3.0m以上～3.8m未満 | 箇所     |

# 参 考 図

— 東本通川第2排水区雨水管污水管新設工事（5-1工区） —

# 位置図

東本通川第2排水区雨水管污水管新設工事（5-1工区）  
本郷南四丁目（34. 404608, 132. 99256）

